

# 家畜保健衛生だより

平成28年度 第13号

## 抗菌剤の慎重使用の対策を進め、消費者の信頼に応えましょう！

薬剤耐性菌とは「抗菌剤の効かない細菌」で、近年、世界的に薬剤耐性菌による感染症が増加しており、大きな問題となっています。



### 薬剤耐性菌問題と畜産とのかかわり

- 抗菌剤は、畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。
- 家畜への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌は、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。



### 畜産関係者（生産者や獣医師等）が実施すべき対策

- 畜産関係者は、薬剤耐性問題を理解し、「抗菌剤の慎重使用」を徹底すること等が求められています。

### 慎重使用の具体的な取組

飼養環境を整え、家畜の健康を維持し、ワクチン等を使って感染症の発生を予防しましょう。

過去の感染症の発生状況を確認し、原因菌を特定しましょう。

抗菌剤を使用する場合は、感受性試験を行い、有効な抗菌剤を選びましょう。フルオロキノロン等の第二次選択薬を最初の治療から使用するのを避けましょう。

感受性や薬剤耐性菌の状況などに関する情報を確認しましょう。

家畜に対する抗菌剤の有効性を維持するためには、関係者が一体となって対策に取り組む必要があります。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

